

指定格付け機関の日本格付研究所（東京都中央区、JCR）は20日、特定医療法人社団ジャパンメディカルアライアンス（本部＝神奈川県海老名市）の長期優先債務格付け「BBB」を1ランク上の「BBB+」（トリプルBプラス）に格上げしたと発表した。同法人は4月に社会医療法人に移行する予定で、格付けを取得した社会医療法人の全国第1号となる見通し。

ジャパンメディカルアライアンスは、海老名総合病院（神奈川県海老名市、469床）と東埼玉総合病院（埼玉県杉戸町、193床）

を主力施設とし、慢性期医療、人工透析、人間ドックなどを展開している。

長期格付けトリプルBプラスは、AAA（債務履行の確実性が最も高い）からD（債務不履行に陥ってい

る）まで10段階中、4番目の位置付け。債務の長期的が中期的にどのような方向に動きうるかという見通しも「安定的」と評価された。

社会医療法人の格付けは、①2次医療圏での事業基盤②法人内医療機

関の特性③財務基盤④グループ全体の組織運営体制などのマネジメントの4領域を設定。公的医療機関に準じる法人としての地域医療への貢献、経営情報の開示、人材育成など

も加味して審査した。

同法人は、03年にトリプルBと認定されている。その後、基幹2病院がDPC対象病院となり、海老名総合病院は08年2月に地域医療支援病院を取得、さらに08年度診療報酬改

定でグループ全体の収益がプラスだったことなどが、「キャッシュフローの安定度が着実に高まっている」と格上げの理由とされた。

金融庁指定の格付け機関はJRCを含め5社あるが、JRCによると、社会医療法人は含まれていない。社会医療法人の認定は、複数の都道府県に拠点がある場合は厚生労働相が行い、実質的な審議をする社会保障審議会医療分科会が1月の会合で同法人の認定を了承していた。厚労省は4月以前に医療分科会の予定はないとしている。

社会医療法人の格付け

ジャパンメディカルアライアンスが第1号に